

就職氷河期世代のキャリア

年金部会提出資料（2023年10月24日）

労働政策研究・研修機構 堀 有喜衣

- 近年、就職氷河期世代の正社員率は先行世代並みにまで上昇。しかし年金は過去の厚生年金加入や収入が反映。
- キャリアが不安定な者の収入は低く、就職氷河期世代内でも差が見られる（図表1）。
- 図表2によれば就職氷河期世代は先行世代に比べてキャリアが不安定な者の割合が高く、若い時期には適用拡大の恩恵を受けていない。また氷河期世代は人口のボリュームも大きいため、若い世代に対する影響が大きい。

正社員のキャリア別労働時間・収入
(在学中を除く、実測値) 35-44歳

キャリア類型	男性		
	週労働時間 (時間)	年収 (万円)	時間当たり収入 (円)
正社員定着	平均値 47.4 N(人) 25,258	530.7 25,581	2,575 25,129
正社員転職	平均値 47.8 N(人) 16,709	453.6 16,910	2,180 16,654
正社員一時非典型	平均値 47.7 N(人) 2,266	380.5 2,306	1,817 2,257
他形態から正社員 正社員転換者	平均値 47.9 N(人) 4,012	400.7 4,083	1,904 3,997
合計	平均値 47.6 N(人) 49,284	484.5 49,906	2,338 48,959

注：ウエイトバック前の実測値による。
週労働時間は、「だいたい規則的に」または「年間200日以上」働いている場合のみ。
時間当たり収入は年収 / (週労働時間 × 50週) で求めた。

図表2 3時点（初職＋現職直前職＋現職）のキャリア分析：正社員転換者
 （他形態から正社員）多く、先行世代に比べて不安定
 （労働政策研究・研修機構,2019,『若年者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状③
 ー平成29年版「就業構造基本調査」よりー』資料シリーズ No.217)

